

第5回金沢市ガス事業・発電事業譲渡先選定委員会

議事録

日時：令和2年11月26日（木）9時15分～

場所：金沢市役所第一本庁舎7階 第4委員会室

【事務局】 おはようございます。それでは、定刻よりも少しお早い時間ですが、皆様お集まりいただきましたので始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

では、ただいまより第5回金沢市ガス事業・発電事業譲渡先選定委員会を開催いたします。皆様方には大変御多忙の中、御出席賜りまして誠にありがとうございます。

本日、司会を務めさせていただきます金沢市企業局経営企画課ガス・発電事業譲渡準備室の野村でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、御発言をいただく際に、皆様の机のところにございますマイクを御利用いただきたいと思っております。御発言の際は、マイクの台座部分の一番手前に黒い大きな横長のボタンがございます。こちらを押していただきますと、ボタン部分に緑色のランプが点灯いたします。緑色のランプがついている間は御発言いただくとマイクが入っている状態になります。御発言が終わりましたら、また押していただきますとランプが消えますので、それでマイクが切れるということになります。ちょっと御面倒をおかけしますが、マイクの御利用をよろしくお願いいたします。

では、本日の出席者につきましては、お手元にお配りしております出席者名簿のほうを御確認ください。

では、ここからの議事進行は草薙委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【委員長】 皆様、おはようございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

今日はマイクということで、やはりあまり大きな声でしゃべってはいけないんだと拝察いたします。マイクを使うと拡声機能がありますので、ぜひ御利用のほどお願いいたします。

それでは、今日は見学会もございますので、会議の円滑な進行に御協力をお願いいたします。

では、議事に入りたいと思います。

議事、報告事項1番、第一次審査（資格審査）結果について、事務局からお願いします。

【事務局】 おはようございます。企業局経営企画課の高橋でございます。よろしくお願いいいたします。

それでは、第一次審査の資格審査結果について御報告をさせていただきます。資料のほうですが、報告事項資料1、A4横の資料を御覧いただけますでしょうか。

それでは御説明させていただきます。点線の枠囲いの下の部分でございますが、第一次審査につきましては、11月5日から12日までの間を期間といたしまして、資格審査申請書類の掲出を受け付けたところでございます。

その結果、2つのグループから提出がございました。そこで、名称のほうは、この資料の中では審査上の名称とさせていただきます。今回応募のありました企業グループ、これはコンソーシアムと呼んでおりますが、その名称に具体的な企業名を使ってきたところがありますので、今後、公平、公正な審査といった観点から、審査上の名称として2つ、末、犀川——これは本市の浄水場の名称でございます——この名称を審査上の名称とさせていただきます。なお、この順番でございますが、これは提出書類の提出順となっております。

この2つのグループにつきまして、それぞれ構成しております構成員、協力会社も含めまして資格審査を行いました。その結果、いずれも要件を充足しておるといったこととなりまして、資格審査結果については16日に既に通知をして終わっているところでございます。

ということで、この2つのグループが、今後、年明け2月5日になりますが、第二次審査の提出の権利があるといったことでございます。

説明につきましては以上で終わります。

【委員長】 ありがとうございます。

先ほど事務局から御説明がございましたけれども、御質問等はございますでしょうか。

2つのコンソーシアムのエントリーがこれで決まるということになります。名前は末浄水場と犀川浄水場、浄水場の名前を取ってということで、公平にやっていきたいということですね。よろしゅうございますでしょうか。

ありがとうございます。それでは、これで進めてまいります。

事務局には第二次審査に向けた公募手続を進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

続きまして、審議事項1番、審査配点（中区分）について、事務局から御説明をお願いいたします。

【事務局】 それでは御説明いたしますが、資料につきましては、右上ホチキス留めのA4横、審議事項資料1を御覧ください。

最初、1ページ目でございます。ここで配点表の記載がございますが、こちらにつきましては、前回までに御審議をいただきまして公募資料として既に公表しているものでございます。年明けの2月に提案内容の審査を行っていくこととなりますが、この資料の中で、1の全体計画から4の顧客サービスまでの評価につきましては、応募者から提出を受けます審査書類、またヒアリングに基づき、委員の皆様それぞれに評価を行っていただくこととしてございます。

その際に、大項目の中に、例えば1の全体計画のほうで御説明いたしますが、経営理念、ビジョン、経営戦略といった項目以下、8番の地域連携及びパートナーシップまで8つの小項目がございますが、この小項目の間で関連性のあるものがあること、また、評価を効率的また合理的に行うために、一定の関連性のある小項目同士を束ねまして、中項目を設定させていただきたいと考えております。その上で評価をお願いしたいといったところでございます。

その説明につきまして、資料の2ページ、3ページでさせていただきます。では、2ページをお開きください。

最初に、資料の見方でございますが、左にあります表の項目、左から順に、大項目とその配点、今回設定いたします中項目の案でございます。小項目、応募者が作成をする審査書類の枚数、最後に中項目の配点の案となっております。表の右側に吹き出しのコメントがございますが、これは中項目の案に関します設定の考え方を簡単に記載させていただいております。

(中項目の配点に関する審議につき非公開)

今ほど資料の特に2ページ、3ページ、こちらのほうをざっと御説明させていただいたところがございますが、この中項目の設定の方法、またそれぞれの配点につきまして御審議をいただければと考えてございます。

一旦説明は終了させていただきます。

【委員長】 ありがとうございます。

ただいま事務局から御説明がありましたけれども、何か質問等がございましたら、どなたからでも御自由に御発言をお願いいたします。

聞き逃したのかもしれませんが、A4で何枚って、私も数えたら47ぐらいになるんでしょうか。プラス、別途エクセル表もつけてということですが、これはワードでA4という感じでしょうか。それともパワーポイントで。何かお考えがあるわけですか。

【事務局】 ワードですね。

【委員長】 ワードでございますか。そうしましたら、かなり大部の、ワードのぎちぎちの文書を提出いただくわけですが、パワーポイントを用いたプレゼンは別途あるわけですね。その辺のイメージはどうなっているわけなんですか。

【事務局】 2月5日に書類の受付をいたしますので、各委員の皆様方へお持ちさせていただきまして、一旦はそこで最初に御覧いただいて、ある程度の評価をしていただければと考えてございます。

その後に各事業者に対してヒアリングを行いまして、その結果も踏まえて、ご評価いただき、委員ごとに出された評価を事務局のほうで単純に点数を合計して、最終的な1位、2位といった形で決めていくといった段取りを想定してございます。

【委員長】 御丁寧にありがとうございます。

我々、大項目の配点だけは決めていたわけですが、今回中項目まできっちり決めて、これを決めませんと提案をいただくというわけにもいきませんので、今日これを決めて、提案項目に具体的に重みをつけていくということでお願いいたしたいと思います。

どんなことでも結構ですので、お願いいたします。

【委員】 質問ですが、今おっしゃったヒアリングというのは、プレゼンみたいなものを我々が聞くというイメージでしょうか。

【事務局】 はい。

【委員】 分かりました。

【委員長】 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。お願いいたします。

【委員】 今、中項目で配点が出ていますけれども、例えば全体計画で中項目■点のところと■とありますけれども、これを一括で■点という評価方法なんですか。それとも■を評価して、それを基準点に置き換えるということなんですか。

どういうやり方になりますでしょうか。

【事務局】 小項目の数が非常に多いので、それぞれで評価していくことが非常に困難かと考えております。また、項目の間で関連性があるといったところで、今はあくまでも案でございますけれども、全体計画でいくと、XXXXXXXXXX、これを1つの固まりとみなして、この固まりで評価がAからFでどこになるかといったところを提案していただければと考えてございます。

【委員長】 ありがとうございます。

そのほか、いかがでしょうか。

大変面白いのは、上下水道事業者との連携がちょっと心配な面があって、やっぱり企業局としてのやり方として、仲よく、情報も密にやっていきたいという思いがちゃんと伝わってきて好感が持てます。このあたりはXXXX委員からも実際に御助言いただいたりして高い配点になりますので、ぜひともよろしく願いいたします。

いかがでしょうか。どんなことでも、気がつかれた点。お願いします。

【委員】 今日御審議いただいている配点の中身は、これはあくまでインサイドの、中の話、いわゆる応募のあった企業側には提示はしないという理解でよかったですか。

【委員長】 お願いします。

【事務局】 外に出ているのはあくまで大項目のところでございます。中項目の取扱いをどうするかでございます。これを応募者のほうに提示をしていくと、それぞれの配点の重みを見て、そこに多分力を入れてくることになろうかなと思っております。それがいいかどうかといったところもでございます。

他都市の先行事例等では、なかなかここまでは示してはいないと。今回で言うと、いわゆる大項目までといった取扱いになっておりますので、先行事例を踏まえますと、同様の取扱いが適切ではないかと考えてございます。

【委員長】 要領のよい事業者が得をするようなことでは、あんまり望ましくないかなと思いますけれども、この点、委員の皆様いかがですか。よろしゅうございますか。大項目のみ、エントリーした者は知ることができると。

お願いします。

【委員】 1ページ目は大項目、2ページ目に中項目、この枚数はどうやって応募者は把握というか、提出案件にまとめるんでしょうか。

【委員長】 お願いします。

【事務局】　ここで枚数を書かせていただいておりますけれども、これにつきましては、公募段階において最優秀提案者の選定基準というものがございます。その中で、こういった一覧の様式があつて、そこに対して関心のあつた会社からは、こういった様式が要るのかといった質問も当然ありますし、一応事務局として用意もさせていただいております、それは既に応募者のほうには伝わっている状況であります。

以上です。

【委員長】　ありがとうございます。

これはエクセル表も含め、全てフォーマットがあるわけですね。

【事務局】　はい。

【委員長】　分かりました。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。配点もよろしゅうございますか。

特に御異議がないようですので、原案どおり御了承いただいたということとさせていただきたいと思ひます。ありがとうございます。

それでは、御了承いただいた内容を二次審査の配点としたいと思ひます。

本日は一次審査結果の報告をいただきましたし、二次審査の提案の項目と配点について御審議をいただきました。ありがとうございます。事務局においては、本日の議論を踏まえまして、二次審査に向けた議論、作業を進めていただきたいというふうに思ひます。

そして、この後、水力発電施設の現地視察が予定されているということでございますので、事務連絡につきまして説明がございましたらお願いします。

【事務局】　それでは、委員の皆様におかれましては、熱心な御審議をいただきましてありがとうございます。

会議につきましては、一旦こちらをもちまして閉会させていただきます、第6回を先に御説明をさせていただきます。

第6回の会議につきましては、第二次審査の詳細な方法について御説明させていただく予定となっております。日程につきましては、年が明けまして来年1月下旬から第二次審査の提出期限であります2月5日、この間にまた日程調整をさせていただきたいと考えておりますが、委員の皆様の日程調整が難しい場合は、持回りによる御説明とさせていただくことも含めて調整させていただきたいと考えております。日程調整の詳細につきましては、また改めて各委員の皆様にご連絡を差し上げたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

また、今回、応募者が2者でありましたことから、2月頃に、応募者のプレゼン、最優秀提案者等の選定を第7回の会議にまとめて実施することとしてお願いしたいと思います。こちらもまた改めて各委員の皆様にご連絡を差し上げたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、この後予定しております水力発電施設の現地視察につきましてですが、現地には2台の車で移動をしたいと思います。1階正面玄関前に車を御用意いたしますので、そちらのほうで移動させていただきます。

また、現地視察終了後は正面玄関前にて解散とさせていただきたいと考えておりますので、お手元のお荷物のほうも全てお持ちいただきまして、車に御乗車ください。

最後に、今回の会議資料ですけれども、非公開情報を含むものとなっております。お取扱いには十分御注意をよろしくお願いいたします。

【委員長】 追加で事務局、よろしくお願いいたします。

【事務局】 最後にすみません。今回報告をさせていただきました応募者、2つなんですけど、これは入札の行為でございます。市の公募型プロポーザルに準じて、これは公表しないこととなっております。そういうことですので、ここはくれぐれもお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

— 了 —